

ホリデー期間 防犯対策強化

2017年12月
在オークランド総領事館

2017年12月12日、当地紙 New Zealand Herald は「酔っ払いへの監視強化」と題し、オークランド警察が年末年始のホリデー期間中に行う防犯対策について報じています。これは、飲酒に起因する事件・事故などを抑制することを目的とした「Operation Summer」を市内中心部にて実施するもので、パーティーや市中心部へ向かう人たちに目を光らせるとしています。

「Operation Summer」は2月まで実施されるとのことですが、皆さまにおかれましても犯罪に巻き込まれないよう、また加害者とならないよう十分ご注意ください。

【本文のポイント】

1. オークランド警察担当官のコメント。

- ①オークランド市中心部(CBD)は最も警戒すべき地域である。
- ②過去の統計からも12月、1月には特定地域で暴行事件や騒ぎなどが増加するため、警察では、クリスマス前の週末から年始にかけては特に警戒。
- ③例年この期間中に公共の場で起こる暴行事件の4分の1がCBDで発生し、時間帯としては2am – 4amの2時間に全体の42%が発生。
- ④「Operation Summer」実施中は、オークランド地域の3つの警察署から警察官が派遣され、市中心部のパトロールをする予定。
- ⑤夏のホリデー期間中、もちろん皆が楽しく過ごすことが望ましいが、節度をわきまえて責任ある行動をとるようお願いしたい。

2. How to stay safe – 安全に過ごすには

- ①友人が飲みすぎて酔ってしまった場合、喧嘩などに巻き込まれないように注意する。トラブルに巻き込まれることを避け、争いごとに巻き込まれ暴行の被害者にならないよう落ち着かせるようにする。
- ②Pub や Club またはパーティーに行く場合、前もって帰宅する手段を考えておく。
- ③自分の飲み物はできるだけ手元に置き、他人が飲み物に細工するような機会を与えないようにする。もし、飲み物の色や味がおかしいと気づいたら、決して飲まない。
- ④万が一、急に眠くなったりするようであれば、友人や誰か信用できる人に伝え、その人に付き添ってもらおう。飲み物に薬物などを混入されることは稀なことではあるが、水やソフトドリンクであっても薬物などを混入される可能性はあるので注意しておく。

- ⑤帰宅する際、一人ではなく友人等と帰宅し、必ず信用できる人と過ごすようにする。
- ⑥パーティーを主催するのであれば、楽しむことはいいが、收拾がつかないようなパーティーにならないように注意する。そのためには、招待客は知人のみに限り、18歳以下からは両親からの同意を確認する。
- ⑦夜間出歩く場合、常に明るいところを歩くようにする。貴重品はなるべく身に着け、携帯電話はすぐに取り出せるようにしておく。歩道を歩く時は、通行する車に向きあうようにし、なるべく車道寄りに歩く。
- ⑧誰もが夏のホリデーでシーズンを楽しみにしていると思います。自分自身のみならず友人、地域社会が安全に過ごせるよう努めましょう。